

歯と口の健康をめざして

第84号議案 多摩市みんなの笑顔が広がる歯と口の健康を推進する条例の制定について



議案の内容

歯と口腔の健康は全身の健康の保持増進、健康格差の縮小及び健康寿命の延伸を図る上で重要な役割を果たしていることから、3つの基本理念及び、関係者の役割、歯科医師と市の責務、知識の普及推進等の基本的施策を定めて歯科口腔保健を推進し、健幸都市の実現を図ることを目的に条例を定めるもの。

質疑で確認されたこと

歯科医会非加盟の歯科医師との連携は

- ・加盟されていない市内の歯科医師にも条例の素案を送付し意見を求め、周知を行った。



この条例による今後の取組みは

- ・0～1歳を対象にしたモデル事業の開催
- ・妊婦や子育て世代の方を対象とした取組みや、歯科検診の対象年齢拡大を検討。
- ・災害時の健康被害予防のため、歯磨きシートなどの備蓄を検討、災害時のマニュアルも作成予定。
- ・今後、施策の評価指標設定や調査分析のため委員会等を設置するなどの体制構築を考えていく。

総合体育館に早期の空調設置を

6 陳情第2号 多摩市立総合体育館に空調の設置を求める陳情



陳情の内容

異常な猛暑が続き、冷房がない環境での運動は熱中症による命の危険性もある。さらに総合体育館は災害時の指定避難所となっていることから、空調の設置を早急に求めるもの。

現状と市の検討状況

- ・メインとサブのアリーナである第1、第2スポーツホールが空調未設置。
- ・昨年度より、他自治体への視察を通じ、複数の空調方式の効果や影響の確認を行った。また方式別に、コストの比較、風量によるスポーツ競技への影響、補助金などの財源対策に関する検討などを経て、現在も検討中。

質疑で確認されたこと

- ・現在の酷暑時の対応として施設側の判断で貸し出し中止はせず、暑さ指数や気温の掲示により利用者に注意喚起を行っている。また熱中症対策のために利用者が中止を判断した場合は、利用料金を返還している。
- ・2019年の台風19号の際のような1,000名を超える受入れの場合は、避難者の体調や年齢等様々な状況を考慮の上で優先順位を決定し、空調が設置されている部屋に誘導する対応をとっている。

- ・空調設置までの間の対応として、施設入口での暑さ指数予想値の表示や、施設管理者の熱中症アドバイザー講習受講等により、利用者への注意喚起を促す取組み等を徹底していく。
- ・設置予定時期は現時点で未定。



提出した意見書

意見書は、市の公益に関することについて、多摩市議会として国や東京都に意見を表明するものです。
※全文は、多摩市議会ウェブサイトをご覧ください。



令和6年第3回定例会
提出(予定)議案

件名	概要	提出先
自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	自動運転移動サービス等の社会実装に向け、地方公共団体に寄り添う形で国の相談窓口の開設、専門家の派遣等の支援体制を整えることや、自動運転システムレベル4以上の車両の開発促進、遠隔操作システムの導入など行政における利活用の仕組みの検討などについて特段の取組みを求める。	国土交通大臣 経済産業大臣
在日米軍人・軍属による事件・事故の発生時における地元自治体への周知徹底を求める意見書	在日米軍人等に係る事件等の情報を、通報手続に従って国から地元自治体にすみやかに提供すること及び、日米政府が被害者に謝罪と十分な補償を遅滞なく行うことを強く求める。	衆議院議長 外務大臣 防衛大臣 等